

こども☆夢☆未来フェス トークセッション

母親発「子育てたいへんアンケート」×

NHKクローズアップ現代「“母親の後悔”その向こうに何が」

ゲスト:高橋歩唯さん(NHK 報道局社会部記者)・依田真由美さん(NHK 報道局社会番組部ディレクター)

要事前予約
オンライン
(Zoom)
開催

申し込みは
こちら



開催日:2025年3月23日(日)14:00~16:00

認定NPO法人彩の子ネットワークでは、NHKクローズアップ現代「“母親の後悔”その向こうに何が」(2022年12月放映)をきっかけに、乳幼児の母親たちと実行委員会を立ち上げて、自分たちの思いを「私はこう思うけど、あなたは?」と横並びで聞く「子育てたいへんアンケート」を作成・配布しました。ただ今、380人の回答を得て、集計・分析をしています。アンケート結果の報告とともに、ゲストのおふたりから、番組を制作する過程で、今の時代に子育てする現実を確認したこと等をお聴きしての、トークセッションです。

母親発「子育てたいへんアンケート」より

子どものことは大事にしたい! 「そう思う」が9割!

質問:子どものためを思ってやることも、子ども自身の声を聴かなければ暴力になりうる

「そう思う」が5割!

だけど、そうできない現実も…

質問:虐待・体罰はダメだと頭ではわかっているが、叩いたり怒鳴ったりしてしまう



“母親”ってなんだろう?

質問:母親になったことを後悔する気持ちになるのは、子どもを大切に思い責任を感じるからだ

「そう思う」が7割!



◆ゲスト◆

高橋歩唯さん(NHK報道局社会部記者)・依田真由美さん(NHK 報道局社会番組部ディレクター)

オルナ・ドーナト著「母親になって後悔してる」(新潮文庫)が出版され話題になる中で、日本の母親たちへの取材を始め、NHKクローズアップ現代「“母親の後悔”その向こうに何が」を制作。取材した母親たちの声をまとめた書籍「母親になって後悔してる、といえたなら一語り始めた日本の女性たち」(新潮社)を、2024年に出版。

お申込み・お問い合わせ:認定NPO 法人彩の子ネットワーク

住所:上尾市本町2-13-8根貝戸団地1階 電話:048-770-5272 メール:office@sainoko.net

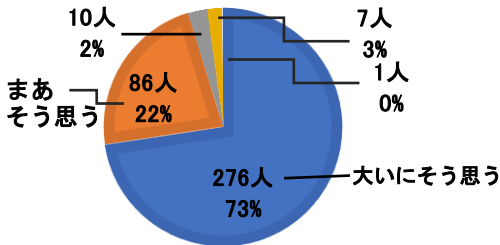
主催:認定NPO 法人彩の子ネットワーク 後援:上尾市 協力:上尾グラン育自ネットワーク
一般財団法人 YS 市庭コミュニティー財団助成事業



母親発「子育てたいへんアンケート」集計結果の一部、
各設問で、「大いにそう思う」と「まあそう思う」の合計が最も多かった質問を紹介!

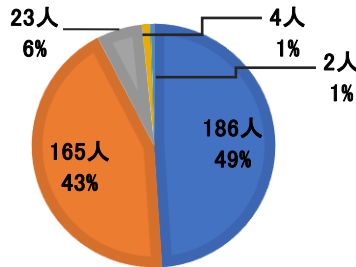
「妊娠出産」の設問から

出産後の性生活は、女性の心身が回復してから開始するのが本当の愛情だ



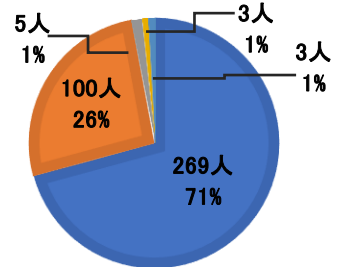
「子育て観1」の設問から

子どものためを思ってやることも、子ども自身の声を聴かなければ暴力になりうる



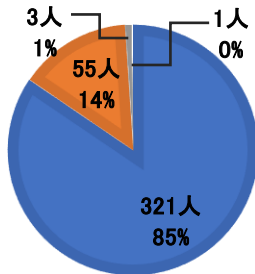
「子育て観2」の設問から

3分5分でいいから、ちょっと子どもを見ていてくれる人がいると、本当に助かる



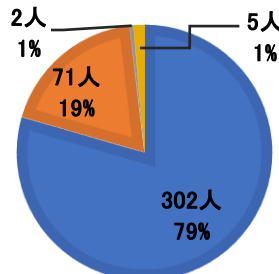
「バス問題」の設問から

赤ちゃんが泣いたりぐずったりした時に、「大丈夫だよ」と言ってくれる人が1人でもいたら救われる



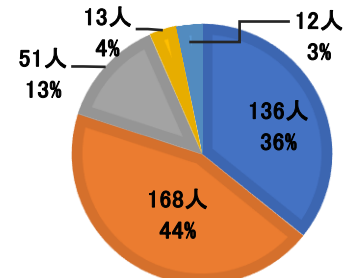
「社会」の設問から

男性でも悩みを抱えたり、ストレスを感じたりしたときには弱音を吐いていい

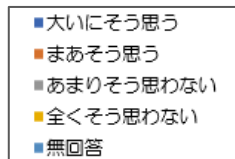


「母親の後悔」の設問から

日々必死で子育てしているのに、後悔とか思いたくない



アンケート実行委員会メンバーで、集計結果をみたら、「数ある質問の中で、この質問が一番なんだ!」「アンケートに回答した380人が、一番多く支持したのは、このことなのか!」なるほど!と思ったり、意外だったり…。あなたはどう感じましたか?



母親発「子育てたいへんアンケート」は、“対話のもと”

子どもたちが、幸せに育っていけるように…、みんなで考えていきませんか
わたしたち、子どもたちの未来のために—

○アンケート結果は、「妊娠・出産をコントロールすること」、「虐待に関わる気持ち」、「パートナーの子育て観」、「母親になった自分の人生について」、「街の中での関わり」等、様々な角度で話し合うもとになりそうです。彩の子ネットでは、母親同士で、また、いろいろな世代の男性女性と対話していきたいと思っています。

○赤ちゃん・子どもをよく見てみよう!

SNSやマニュアルにあふれる情報で迷ったら、目の前の子を感じよう。彩の子ネットの運営している、子育て支援拠点では、赤ちゃん・小さな子どもたちの思いや願いをまっすぐに捉える目線が持てるプログラムを実施しています。



「はじめての100か月の育ちビジョン」(こども家庭庁)

“はじめての100か月”とは、子どもの誕生日前(胎児期)から、およそ小学1年生になるまでの期間。人が生まれ育っていくのに「生涯の幸せをつくる」ベースとしてとても大切にしたい時期。

赤ちゃんたちも、そして養育者も、ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に幸せな状態)であるように、すべての人々が(こどもに直接関わりがない人も)、その人の立場で子どもの育ちを応援する社会を目指します。

この時期に大切にしたい考え方を、5つのビジョンとしてまとめています。

1. こどもの権利と尊厳を守る
2. 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
3. 「こどもの誕生日前」から切れ目なく育ちを支える
4. 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
5. こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

子育てたいへんアンケート
実行委員を
随時募集しています!

子育てしている・していないにかかわらず、このアンケートに興味のある方、ぜひ彩の子ネットワークへお問い合わせください。いっしょにやりましょう。

電話: 048-770-5272
メール: office@sainoko.net